

秋色のまち 満喫



特別公開された伊佐家住宅

また、初の試みとして、「秋の華めぐり」と題して7社寺で花手水や生け花を実施。各社寺の手水舎などが趣向を凝らして色とりどりの花で飾られ、訪れた人たちは写真を撮るなどして楽しんでいました。

11月21、22日の2日間、市内9カ所の社寺等で「京都やわたの紅葉満喫 秋の文化財一斉公開」が行われ、たくさんのお来訪者が八幡の秋を楽しみました。

このイベントは、文化財の公開等を通じて、市内の歴史ある社寺等の魅力をたくさんの人に知ってもらおうと、毎年、観光協会が主催しています。

市内9カ所 文化財一斉公開



写真を撮るなどして花手水を楽しみ参拝者たち(石清水八幡宮)

期間中は、江戸時代の幕府領の庄屋で国指定重要文化財の伊佐家住宅のガイド付き見学や、昨年に保存修理工事が完了した国指定史跡の八角堂の特別開扉、各社寺での特別拝観などが実施され、訪れた人たちは普段はなかなか見られない文化財を堪能しました。

高速道路の作り方勉強

有都小 NEXCO西日本社員が出張授業

高速道路の作り方などを学んでもらおうと10月28日、有都小学校の1～3年生61人を対象にNEXCO西日本の社員による出張学習会が行われました。

この授業は、新名神高速道路の八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間が男山東中学校区内に建設中であることから、この機会に地元の児童たちに高速道路について学んでもらおうと、男山東中学校校区学校支援地域本部が企画しました。

はじめに、児童たちは教室で高速道路の作り方などにつ

いて勉強。同社員による建設に使われる機械や材料などの説明に熱心に聞き入っていました。

その後、体育館でドライバシミュレーターによる高速道路での模擬運転を体験。楽しみながら高速道路についての知識を深めていました。

竹原裕希くん(9)は「ミキサ車で混ぜた材料を枠に入れて、高速道路の形を作るのがすごいと思いました。大人になったら、免許をとって運転したいです」と話していました。



ドライバシミュレーターで模擬運転を体験する児童

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

石清水八幡宮参道ケーブル開通65周年

記念ヘッドマークでGO!

石清水八幡宮参道ケーブルが12月3日に開通65周年を迎えることを記念し、11月21日から記念イベントが行われています。

同ケーブルは、大正15年(1926年)に男山索道株式会社が敷設。第二次世界大戦への資材の供出のため、昭和19年(1944年)に一度廃止されましたが、戦後の昭和30年(1955年)に京阪電気鉄道株式会社が復活させました。

イベント期間中には、ケーブル八幡宮山上駅で期間限定の記念スタンプの設置や、昨年に車両デザインがリニューアルされた石清水八幡宮参道ケーブル「あかね」と「こがね」への記念ヘッドマークの掲出などが行われ、65周年の記念に花を添えます。イベント期間は、翌年1月11日まで。初めて同ケーブルに乗車した中江博人さん(58)は「車内からの眺めがとて素晴らしいですね。リニューアルした車両もきれいでした」と話していました。



65周年記念のヘッドマークが掲出されたケーブルカー

今月のこの人 「真の」チャンピオンに



たいら たくや 拓也さん

キックボクサーとして活躍する泰良さんは「HOOST CUP日本フェザー級王座決定戦」で優勝し、チャンピオンになりました。「絶対にチャンピオンになる」という気持ちで頑張ってきました。小学生からの夢が叶い、とてもうれしいです」と充実感をにじませます。強くなりたい一心で、空手や剣道を経験した後、本格的にキックボクシングを学ぶため、17歳の時に、大阪市内にある空手道場へ入門。現在は、K-1ファイターとして第一線で活躍された格闘家の武蔵さんのチームに所属し、厳しいトレーニングに励んでいます。

試合の様子(写真提供: HOOST CUP)



「今回『新』チャンピオンになりました。次は、家族や応援してくれる人のため、他の大会の王者にも勝ち、『真の』チャンピオンになります」と話し、気持ちの強さと自慢のパンチ力と並ぶ強豪を撃破し、その先に見据えるのは、世界チャンピオンです。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。秘書広報課へお問合せください。